

『所属での指導救命士としての取り組みについて』

	都道府県名	香川県
	所 属	高松市消防局 高松市三木消防署
	氏 名	安西 一正
(エンブレムなし)	職名・階級	係長・消防司令補
	指導救命士養成研修 受講時期	平成28年度 指導救命士養成研修 第2期 修了

平成28年度指導救命士養成研修第2期生として救急救命九州研修所を卒業した私は、伝えたい事をいかに効率・効果的に伝えるか、「考えて指導する」事の大切さを学び、所属に戻った今、病院前救護活動の質の向上を目的に、「実践での見せる教育」をテーマとして救急隊員教育に取り組んでいます。

病院前救護活動では、一つとして同じ現場がないため常にその場に合った臨機応変な対応が必要であり、更にショック状態など緊急度が高い傷病者の場合には、現場滞在時間を意識した迅速な活動が求められます。私がテーマとしている「実践での見せる教育」は、「やってみせ、言って聞かせて、させてみて、褒めてやらねば人は動かじ」の名言を基に、実践して見せる事により、学んでもらう事を目標としています。日々の勉強会やシミュレーショントレーニングであったり、時には現場に向かう車内で、まずは秒単位で活動時間を削るための事前準備のポイントを伝えておきます。そして現場では、迅速で適切な活動を実践して見せます。活動中に私の考え全てを口頭で伝える事は困難ですので、帰署中の時間等を活用して何を考え、どう評価・判断し、その結果どう行動していたのかを伝え、迅速であっても考えて活動する事の大切さを強調するように心掛けています。この方法であれば活動の振り返りも兼ねるため、教育効果がより一層高まると考えています。そして教育・訓練を繰り返した救急隊員に次のステップとして、徐々に活動を任せ経験を積んでもらいます。一つ一つの活動に対する振り返りを続け、最終的に救急隊員の活動（行動）が変わり、出来なかった事が出来るようになった時に「実践での見せる教育」の効果があったと実感できます。

またその他にも、所属という垣根を越え香川県全体の病院前救護活動の質の向上を目的に、指導救命士としてプロトコルに対する提言や消防学校の救急教育また、病院前救護活動の講習会の開催とその指導者育成に携わり、教育とその環境作りに尽力しています。



所属での訓練



#### おわりに

指導救命士になっても定められた役割がない場合、進む道を迷う事があるかもしれませんが、それでも、諦めずに病院前救護活動の質の向上を目指し、指導者として教育とその環境作りに取り組んで行けば、必ず道は開け、その後には道が出来ると信じ、これからも歩んでいきます。